

会議の概要

会議の名称	第3回 あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会
開催日時	令和2年11月20日(金) 午後2時
開催場所	甚目寺総合福祉会館 3階 つどいの部屋
議題	1 第8期あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案について
会議資料	次第 あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案 A4ホチキス留め「健康づくりと介護予防の推進」 介護保険事業試算(令和2年11月13日現在) パブリックコメント周知(案) 委員名簿
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	なし
出席委員	木全 克己 牧村 順一 梅屋 崇 富田 悦充 覺前 淳 渡邊 剛 井村 なを子 宮治 正三 岩間 浩子 杉本 吉之 服部 章平 小野 浩司 後藤 幸元
欠席委員	下方 辰幸 藤井 雅臣 村上 千代子 立松 愛唯
事務局	高齢福祉課長 菱田 基久 主 幹 宮地 賢一 課長補佐 中井 基人、林 繁子 係 長 伊藤 有為 主 査 伊藤 善崇 健康推進課長 長谷川 真二 Next-i株式会社 安村 眞也

議事内容

事務局	<p>本日は、ご多忙のところ、あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会にご出席賜り、ありがとうございます。</p> <p>定刻となりましたので、只今より始めさせていただきます。</p> <p>なお、下方委員、藤井委員、村上委員、立松委員からご欠席の連絡をいただいておりますので、あらかじめご報告させていただきます。</p> <p>本日の策定委員会は『あま市審議会等の会議の公開に関する要綱』第3条に基づき公開で開催いたします。また、同要綱第7条に基づき、本日の策定委員会終了後、会議録を作成し、市公式ウェブサイトへ会議録を掲載することとなっておりますのでご承知ください。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、1時間程度の会議を予定しております。皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。続きまして、前回の委員会終了後、お一人委員の交代がございました。この場を借りてご紹介させていただきます。</p> <p>居宅介護支援事業者代表の <sup>いわま</sup> 岩間 委員 でございます。</p> <p>続きまして、資料の確認をおねがいします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次第</li> <li>2. あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案</li> <li>3. A4ホチキス留め「健康づくりと介護予防の推進」</li> <li>4. 介護保険事業試算（令和2年11月13日現在）</li> <li>5. パブリックコメント周知（案）</li> <li>6. 委員名簿</li> </ol> <p>の6点でございます。</p> <p>皆様、資料の不足等ございませんでしょうか。</p> <p>本日、この委員会におきましてはあま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画作成を委託しておりますネクストアイ株式会社の安村氏を同席させていただきますので委員長の許可をお願いします。</p>
委員長	同席を許可します。
	Next-i 株式会社入室
事務局	<p>それでは、当委員会の木全委員長に挨拶をお願いするとともに、これ以降の進行につきましては、木全委員長をお願いいたします。</p>
委員長	<p>速やかな議事進行に、皆様方のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>「(1) 第8期あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画素案について」を議題とします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	資料に沿って説明
委員長	<p>事務局からの説明が終わりましたので、質疑に入ります。</p> <p>質問等ある方は挙手にてお願い致します。</p>
委員	保険料率の第5段階ですが、ベースの年収はいくらくらいでしょうか。

事務局	<p>元々の数字で行きますと、合計所得金額が120万円を超える方ということになるのですが、来年の1月から、控除の額が変わり、今まで120万円といわれていた方が、130万円になる可能性があり、まだこの辺りが国から取り扱いが出ていないものですから、ここは空白にさせていただきます。</p>
委員	<p>分かりました。 それから、12段階で、市民税課税で、合計所得金額が〇〇万円以上の人、それ以外は未満の人ということになっていますが、以上の人は青天井で増えるのでしょうか。</p>
事務局	<p>元々、第7期の計画で行きますと、12段階の方は合計所得金額が1,000万円を超える方という風になっております。 次も、その1,000万円を超える方ということになるのか、税制改正の事で10万円変わってくるのかということではありますが、1,000万円でも2,000万円でも、この基準額に対する割合は2.0ということになりますので、青天井ではありません。 申し訳ありません、訂正があります。 先ほどの第5段階の合計所得金額については、80万円を超える方でした。失礼いたしました。</p>
委員	<p>前段の方で、地域包括支援センターの強化ということが書いてありましたが、医療、介護、予防など、その他5項目があるはずですが、その中でどこを強化したいのかをお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>今回、地域包括ケアシステムについて深化・推進という所なのですが、まず、今回計画にもありますように、共生社会の充実という所で、まず皆で地域を支援しようということで、生活支援を強化していくことを考えています。 また、いつまでも元気に住み慣れた地域で過ごしていくことが大切となってきますので、介護予防の方にも力を入れて進めていきたいと考えております。</p>
委員	<p>それぞれの施策について、事業概要、取組状況、実施状況、今後の方向性と書いていただいておりますが、どうしても実施状況、実績ベースになると思いますので、今まで行ってきた活動が記載されていて、第7期を見ていくと、どうしてもコロナ等の影響で、参加人数が下がってしまっています。 その中で、今までの事業を継続するというプランだけだと、今、これから集合で何かを行うということが難しくなっている現状の中で、少し物足りなさを感じてしまいます。 なので、いわゆる「ニューノーマル」や「新しい生活様式」といわれているようなものに、どのように対応させて事業を行ってきたというゆとりの的なものが計画にないと、この先3年間を見た時に少し寂しいと思いました。 例えばどこに組み込めばいいのか私も具体的には思いつきませんが、例</p>

	えは感染症対策の所に入れるのか、もしくは第7章の推進に向けての所に入れるのか、というような形で、既存事業に加えて、新しく、発展性も持たせるようなゆとりがあったらと、提案したいとは思っています。
委員長	事務局からはいかがでしょうか。
事務局	委員のご指摘のとおり、今まで通りことをやっても、今回のコロナウイルスのことがありますので、今後、進めていくにあたっては、対策を入れながら進めさせていただきたいと思っております。 その部分に関しましては、今後検討させていただきたいと思います。 また、今回の計画から3-5ということで、感染症対策に係る体制の整備というところを盛り込んでいます。
委員長	他にご意見のある方はいらっしゃいますでしょうか。
事務局	先ほどの先生のご意見ですが、感染症に関することで、今後介護や介護予防事業について、自然体として、リモートにできることはリモートを使って、極力、集合だけではなく、自宅でもできるというような事業展開を開始していきたいと考えておりますので、宜しく願い致します。
委員長	その他はいかがでしょうか。 私の方からも一点、お願い致します。 1-3の認知症施策の推進・強化という所で、国の推進大綱やオレンジプランが進んでいると思いますが、具体的に認知症施策の中で、今はオレンジドア推進事業が言われています。 その辺りの取組では、今はコロナの影響で難しいかもしれませんが、計画の中にあるのか、お聞きしたいです。
事務局	勉強不足で申し訳ないのですが、先ほどのオレンジドア推進事業というのは、具体的にどういった事業になるのでしょうか。
委員長	基本的に地域で人が絡んでということになりますが、認知症カフェなどの居場所づくりの中で、本人と、認知症で理解して家族と一緒に話せる人の人材を育成したり、場所とサポート体制ということで、認知症カフェとは少し違う、もう少し地域にオープンになっていると思いますが、私ももちろん、まだ詳しくは存じ上げませんが、他の委員の方が詳しいかもしれません。
事務局	先ほど言っていた認知症カフェ、ふれあいカフェですが、市内で10カ所ほど開催していたかと思いますが、その中で、実際に認知症のご本人の方、ご家族の方がお見えになって、地域の方や、認知症のサポートをされる方が参加されて、という形になるのですが、今の委員長の例のように、一つ踏み込んだという形で、実際そのような方に寄り添えるようにとすることで、認知症サポーター養成講座を受けられた方の中で、スキルアップの勉強も含めた中で、チームオレンジを今回、計画に取り入れています。 実際にサポーター養成講座を受けられている方は、あま市の中では中学生等を含めて1万人を超えている状況の中で、まだ少ないですが、40人ほどがチームオレンジということで、参加して頂ける状況です。 その中で、そのようなことも含めながら展開をしていけたらということ

	で、今はまだ勉強・研究を含めながら進めている状態です。
委員長	ありがとうございます。 他にはいかがでしょうか。
委員	新しい生活様式など、計画の中にどのように組み込んでいるのでしょうか。 そういったことの説明がありません。 現状を踏まえての計画なので、こういう所の動きが入っていないという気がいたしました。
事務局	他の委員からもご指摘をいただいておりますので、感染症対策に関する事項については、先ほどの3-5、87ページの所をもう少し厚くしていきたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。
委員	感染症がどうこうというより、生活様式、生活が基盤であるということが介護の基本ですが、今、新しい生活様式をどうするのか、それをきちんと計画に組み込んでやって下さいということを提言しているわけなので、それを踏み込んだ形にしないと、色々な計画が全く書けなくなってしまいます。全部空欄になってしまいます。 そのため、そういうことに対しての事業計画の見直しをするなり、あるいは数値の検討をするなり、どのように持っていけばいいのかという、一番根本の所が何も触れていません。 また、来年も同じようなことになったら、また空欄で終わってしまいます。 そういう時の対応がどうなのかという所が少しも触れられていないため、この辺をお願いしたいと思います。
事務局	委員がおっしゃっているように、やはり計画の中で、具体的にどうしていくのかという、基本の所が、ということだと思います。 やはり、その中で、リモートで開催をする、それに伴って目標の数値が変わる等も含めて、全般的に関わる所が出てくると思いますので、その辺りは、再度精査しながら盛り込んでいくべきかだと思いますので、今おっしゃっていただいたように、コロナが長期間長引いている中で、3年の計画で、途中で変わるというものもなかなか難しいため、その辺りも見ながら、計画の中に落としていきたいと考えています。
委員	計画は計画ですが、コロナが1年、2年という状況になった時に、どのような形でそれを実施するか、こういう時はこういう形を取るなど、そういう計画も記述していく必要があるのではと思います。 事業がやれなかった、ということでは寂しいわけです。 その場合はこういう風にやるという、ある程度の方程式を作っていく必要があるのではないかと、という意見です。
委員	今の委員の話は、色々な計画を立てる中で、1年経ちました、では検証しましょうということ、色々な会でやっていないということだと思います。 色々な会でもよく同じことを申し上げますが、何%でできたというよう

	<p>に数字では表すことができませんが、ということをおっしゃりたいのだと思います。</p> <p>だから、そういうような具体性のあることを示してほしいということです。</p> <p>それから、地域包括支援センターの事です、生活支援が一番難しいです。マンパワー、お金、物がいります。</p> <p>実際それだけ充実させると先ほどおっしゃいましたが、本当にできるのでしょうか。</p> <p>私は、この中で一番難しいと思います。どうでしょうか。</p>
事務局	<p>今、2つの事についてご意見をいただきましたが、1点目については、毎年評価を行っていく予定をしております、また皆さんにご案内をさせていただくことになると思います。その時はぜひ、宜しくお願い致します。</p> <p>もう一つについては、説明が不足しており、申し訳ありません。</p> <p>生活支援については、確かに難しい問題だと考えています。</p> <p>今、あま市では各地域に協議体という、地域の人が集まって、地域の課題や問題といったものを検討して、解決に向けて取り組むという、支え合いの組織が広がっているところです。</p> <p>それ以外にも、各地域、例えば具体的に言いますと伊福地域になりますが、そこでは地域の人が集まって、住民の支え合い組織が本年度立ち上がりました。</p> <p>そこもまだ一つだけですので、そういったところをモデルとしまして、各地域に増やしていきたいと考えております。</p> <p>ただ、残念なことに、今年度はコロナということがあり、伊福の活動に関しても、この秋くらいから始まったばかりで、私たちも伊福が4月から活動していれば、他の地域にも紹介しながら増やしていこうと考えていたのですが、今年度はそこまではできておりません。</p> <p>ただ今後は、地域で支え合う組織は必ず必要になりますので、そこは増やしていくと考えています。</p> <p>失礼しました、伊福の活動については、ボランティア等で6月ころから動き始めています。申し訳ございません。</p>
委員長	<p>他にはよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>大変意欲的な計画だということの評価したいと思っているのですが、今、ちょうどお話の中にもありました、これからの地域での住民の自主的な協力ということですが、言うのは簡単ですが、だけどそういうものを担う人材をどう地域で生みだし、そしてそれをどう組織化していくかという、かなり専門的な、ソーシャルワークという視点をきちんと入れて、専門的にやっていかないと、そうそう簡単にできるものではない、ということが、重々承知の事と思いますが、だからそこには、できる限り社会資源や予算、人件費など、そういったものをぜひぎ込んでいただきたいということが一つです。</p> <p>それから、先ほど委員からもご指摘がありましたが、新しい生活様式に</p>

	<p>よる変化という所、基盤の所で支えると、そういうものになってくると思っています。</p> <p>つまり、従来型の地域の、地縁型の組織、あるいはそういう機能が今、本当に失われつつありますので、それに取って代わる新たなそうしたものとして位置づけることが極めて肝要であると考えています。</p> <p>重々承知の事と思いますが、そこだけ念押しということで申し上げます。</p> <p>それからもう一点ですが、介護予防が何よりも大事ということで、非常に共感、ないし皆さんと共有できると思えますが、資料を見ていますと、第7期の実績で言うと、とりわけ事業概要のはつらつ、筋力、栄養、健康の事業については、残念な結果になっていると思えます。</p> <p>確かに、本年度はコロナの影響で開催できなかったということはよく分かるのですが、仮にそれが無かったとしても、傾向としては落ちており、したがって次の計画でも同じ数字がずらずらと並んでいるということで、こういうのは何か恐らく理由がある、もしくはなぜかということをしちんと分析されていると思えますが、どうもその辺りがしっくりこない感じがします。</p> <p>従来型の交流組織だけではなく、新たな住民のニーズに合った形での組織というのも、それこそ知恵を集めて新たに作っていくなど、そういったことも今本当にずいぶん求められていると思えます。</p> <p>これは別に指摘だけですので、こういう指摘があったということで、受け取っていただければと思います。以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>もう一つ、高齢者の施策の中で、110 ページに老人クラブの組織強化があります。</p> <p>老人クラブは助成金等で支援をされていますが、御存じのように会員数が減って、入る人がいない、老人クラブに入らなくてよかったという声も聞こえてくる中で、具体的に、どういうことをするといいいのかということが知りたいです。</p> <p>私どもは、福祉実践教室が、盲導犬が始まり、車いすがあり、その中で高齢者の福祉体験もやっているのですが、確実に年をとるというのははっきりしているのもう、もう覚悟してお年寄りになるということ、今から、お年寄りになってからでは遅いので、そういった具体的な取組を、豊明市では面白い取組をしているようですが、とにかく、認知症も大事ですが、年を取るという所を、早めに特化してやっていくべきだと思います。</p> <p>例えばお年寄りとの交流の中で、握手するとこんなに手にしわができるのだろうかという所から入っていくなど、何かもう少し具体的に老人クラブを活性化させていくために、補助金、メリットの PR 以外に、何か考えていただきたいというお願いです。</p>
<p>委員</p>	<p>老人クラブについて、私も 80 歳ですが、PR が私の所に入ってきてません。おかげさまで、老人クラブに入っている余裕はないのですが、PR をもっとすべきではないかと思えます。</p>

	<p>話には聞いていますが、老人クラブについてあまり知りません。それが現実なので、PRをよろしくお願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>まず、色々話がありまして、PRについては、私も老人クラブの役員は今年で7年目になるのですが、それ以前にも会員として入っていましたが、老人クラブとは、何をやっているのかという認識は持っていません。</p> <p>役員になってから、とにかく情報発信を、委員がおっしゃったように何をやっているのかというような情報発信をするように、これは全老人クラブがやっているわけではありませんが、代表的な所で会報を必ず出して、地区の住民の回覧板に入れるということがあります。</p> <p>例えば、私のクラブでは年に10回程度、開催の予定や、やった後の報告などを、月1回という記事は作れませんが、情報発信をやっていこうということでやっております。</p> <p>それで、私の作った機関紙を、他のクラブの役員にお見せしたりして、このような形で情報の発信をということでやっております。</p> <p>また、連合会から見ると、私は美和地区ですが、美和地区では連合会ではやっておりませんが、七宝地区では年に2回、機関紙を発行されています。</p> <p>それから老人クラブは年々会員が減っておりまして、とにかく課題としては新しい会員が入ってこないことで、年齢別にみても60代の方が全くおらず、本当に数える程しかいないというのが現状です。</p> <p>私が面倒を見ておりますクラブでは、メンバーが133名いるのですが、60代は9人しかいません。平均年齢は78.2歳です。というように、非常に高齢化しており、新しい人が入ってこず、年々、お亡くなりになる方や、施設に入られる方、家族に引き取られる方ということで、あま市では今、5250数名の会員の方がいますが、年々100名程度の会員が減ってきています。</p> <p>その原因は、とにかく老人クラブは何をやっているのかという、委員のおっしゃっている話で、とりあえず皆さんの認識にあるのは旅行ということで、足腰が弱くなって旅行に行けなくなったから老人クラブを脱退するという、非常に不名誉な辞められ方をされる場合もあるのですが、それで、今年度から、役員で集まり、単一の老人クラブ、個々の老人クラブの活性化に力を入れようというような形で、いわゆる高齢者の旅行がメインではなく、高齢者の居場所づくりということで、地元の公民館等を使って、カラオケ等色々なふれあう行事をやるような形で、今、あま市の老人クラブとして、てこ入れをしようと、とりあえず、単一老人クラブの活性化をしようと、魅力発信、本当に老人クラブに入ってメリットがあるのかと聞かれますと、即答しかねるのが現状であり、それではやはりダメですので、活性化を図るということで、居場所づくりやふれあいの場に力を入れて、今年度から取り組もうと、そういう方向性で進んでおります。</p> <p>とりあえずは、委員もおっしゃったように情報発信をしなければいけないということは私も思います。</p>



<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>美和地区も含め3地区で、合同で連合会があります。地区ごとや単一ごとですごく活動に差が大きいということで、全国老人クラブの指導でその通りやっている所から、まだ旅行に行きたいから等もあり、やはり繋がるという所でもっともっとPRが出来ればと思いますが、何とか具体策が取れるよう、よろしくをお願いします。</p> <p>それでは、その他よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、質疑がないようですので、これで議事を終了し「その他」に入ります。</p> <p>事務局からなにかありますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、今後についてご説明いたします。</p> <p>今後の予定ですが、こちらのA4資料をご覧ください。</p> <p>あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画案についてのご意見を募集しますということで、パブリックコメントを実施します。</p> <p>意見の募集期間としては、11月27日（金）から、12月28日（月）までの約1か月間です。</p> <p>閲覧場所は、市の公式ウェブサイト、または高齢福祉課、各地域包括支援センターということで閲覧して頂けます。</p> <p>意見を提出できる方としては、市内に住所を有する方、市内に事業所を有する個人及び法人の団体です。</p> <p>意見の提出方法につきましては、住所氏名電話番号及びご意見を明記して頂きまして、直接または郵送、FAX、電子メールで高齢福祉課もしくは地域包括支援センターへ提出して頂くというものとなっております。</p> <p>意見の取り扱いにつきましては、後日、あま市の公式ウェブサイトで公表いたします。</p> <p>提出問い合わせ先は、あま市の高齢福祉課ということになっています。</p> <p>よろしくをお願いします。</p> <p>また、次回の会議につきまして、併せてご案内させていただきます。</p> <p>既に前回の会議でご案内させていただいていますように、次回は1月18日（月）となりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>この時には、パブリックコメントの結果報告と、この計画の最終承認という形となっております。以上となります。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>確認ですが、次回は年明け1月18日の月曜日、会場はこの建物の2階で、同じ時間からということになります。</p> <p>以上で、本日の『あま市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定委員会』を閉会いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p>